



株式会社 渡辺ダクト工業

きれいな空気を
はこびます

当社では長年、ダクトの加工から設置工事まで一貫して行っています。ダクトは隠れた場所に設置されることが多いため、皆さんには馴染みの薄いものですが、建物の換気など、快適な生活空間には欠かせません。

このコーナーでは、福島市に立地しているものづくり企業の知られざる魅力にスポットをあて、紹介します。

最新の機械装置を導入し、常に優れた品質の製品をお客様に届けられるよう心掛けています。

お客様のニーズに幅広く応えられる企業、仕事を通して地域社会に貢献する企業、従業員が働きやすい企業を目指し、地域の皆さんに見守られながら、一歩ずつ進んでまいります。



▲レーザー切断機による作業

【会社概要】

所在地：福島市在庭坂栃清水

代表者：代表取締役 わたなべ かつみ 渡辺 勝美

設立：昭和55年3月

資本金：300万円

社員数：22人

主力事業：ダクト工事、ステンレス加工など

連絡先：☎591-4888

■問／商工業振興課
☎525-3721

クローズアップ

🔥 福島市AEDサポートステーション第1号！

緊急時に、当社が所有する「自動体外式除細動器(AED)」を提供する「AEDサポートステーション」に第1号として登録されました。



◀万が一に備えて従業員も普通救命講習を受講

🔥 地元の高校生にもものづくりをPR！

市内の高校で職業講話を実施しました。動画やリーフレットを使用しながら、仕事の紹介や実技体験を行い、次世代へ「ものづくり」の魅力をPRしました。



▲職業講話の様子



▲株式会社渡辺ダクト工業のホームページはこちら

We Love♥
ふくしま！

第61回 「熱中症を予防するために」



キャッチャーだった中1の真夏の野球練習。エースの先輩と一緒に、ファールボールを拾いに投球練習を抜け出し、がぶ飲みした水道水のうまかったこと！スポーツ時は水を飲むなどされていた時代。時代を先取りしていたな〜(笑)

8月になると暑さに慣れ、盆過ぎからは少しずつ涼しくなってきましたが、まだまだ暑い日は続きます。熱中症には、十分ご注意を！暑さの中、意識がもうろうとしかけたら、すぐに救急車を呼びましょう。

熱中症というと、炎天下で起きるものとの思い込みがありますが、実は屋内のほうが多いのが実態。市消防によると、昨年熱中症で救急搬送された方の約3分の2は、住居や公的施設などの屋内で発症しています。特に高齢の方は、住居内で発症するケースが多くなっています。室内でも安心せず、暑いときは冷房や扇風機をかけ、こまめに水分やミネラルの補給をしてください。

福島市では、本年、7月1日から9月30日まで、市の58公施設をクーリングシールドと

して提供することにしました。暑い日の外出時に休憩し、涼んでください。

熱中症の危険性がどのくらいあるかは、環境省の「暑さ指数(WBGT)」が参考になります。暑さ指数は、湿度や気温、日射などの要素を数値化したもの。3時間ごとの予測値とともに、数値に応じ、「嚴重警戒」や「危険」といった段階ごとに、運動中止などの指針が示されています。市では、暑さ指数などをもとに、市公式LINEなどで熱中症に関する警戒情報を発信していますので、日頃から市が発する情報に注意しておいてください。

熱中症は、体温が上がり、水分と塩分のバランスが崩れたり、体温調節機能が働かなくなったりしたときに起きる症状です。日頃から運動し、汗をかく習慣を身につけることも効果的な予防法です。高齢の方も、軽い運動や散歩を日常的に行うことで、熱中症にも感染症にも強い身体を維持し、健康長寿を享受していただきたいと思えます。

福島市長 木幡 浩